

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 9 月 20 日 (2024.9.20)

【国際公開番号】 WO2023/136102
【出願番号】 特願 2023-573954 (P2023-573954)

【国際特許分類】

G 0 1 J 11/00(2006.01)

G 0 1 J 1/44(2006.01)

G 0 1 M 11/00(2006.01)

H 0 4 N 17/04(2006.01)

10

【F I】

G 0 1 J 11/00

G 0 1 J 1/44 M

G 0 1 M 11/00 T

H 0 4 N 17/04 C

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 5 月 27 日 (2024.5.27)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数に対応する一定時間間隔で連続的に取得する刺激値取得ステップと、

前記ディスプレイの光量変動周波数を着目周波数として設定する設定ステップと、

前記サンプリング周波数を、前記設定ステップで設定された前記着目周波数の自然数倍になるように決定する決定ステップと、

30

を含むディスプレイ光計測方法。

【請求項 2】

前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、かつ垂直同期信号の周波数よりも大きい周波数である請求項 1 に記載のディスプレイ光計測方法。

【請求項 3】

前記サンプリング周波数は前記着目周波数の 5 ～ 100 倍である請求項 1 または 2 に記載のディスプレイ光計測方法。

【請求項 4】

前記決定ステップでは、前記サンプリング周波数の上限値と下限値の少なくとも何れかを設定可能である請求項 1 に記載のディスプレイ光計測方法。

40

【請求項 5】

前記刺激値取得ステップでは、積分方式により刺激値に相当する強度を取得する請求項 1 に記載のディスプレイ光計測方法。

【請求項 6】

着目周波数を決定するために、前記ディスプレイの光の光量変動周波数を検出する検出ステップを含んでいる請求項 1 に記載のディスプレイ光計測方法。

【請求項 7】

ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数に対応する一定時間間隔で連続的に取得する刺激値取得手段と、

50

前記ディスプレイの光量変動周波数を着目周波数として設定する設定手段と、
前記サンプリング周波数を、前記設定手段で設定された前記着目周波数の自然数倍になるように決定する決定手段と、
を備えたディスプレイ光計測装置。

【請求項 8】

ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数に対応する一定時間間隔で連続的に取得する刺激値取得手段を備え、

前記ディスプレイの光量変動周波数を着目周波数としたとき、前記サンプリング周波数が着目周波数の自然数倍であるディスプレイ光計測装置。

【請求項 9】

前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、かつ垂直同期信号の周波数よりも大きい周波数である請求項 7 または 8 に記載のディスプレイ光計測装置。

【請求項 10】

前記サンプリング周波数は前記着目周波数の 5 ～ 100 倍である請求項 7 または 8 に記載のディスプレイ光計測装置。

【請求項 11】

前記決定手段は、前記サンプリング周波数の上限値と下限値の少なくとも何れかを設定可能である請求項 7 または 8 に記載のディスプレイ光計測装置。

【請求項 12】

前記刺激値取得手段は、積分方式により刺激値に相当する強度を取得する請求項 7 または 8 に記載のディスプレイ光計測装置。

【請求項 13】

着目周波数を決定するために、前記ディスプレイの光の光量変動周波数を検出する検出手段を備えている請求項 7 または 8 に記載のディスプレイ光計測装置。

【請求項 14】

ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数に対応する一定時間間隔で連続的に取得するための前記サンプリング周波数を決定するデータ処理装置であって、

前記ディスプレイの光量変動周波数を着目周波数として設定する設定手段と、

前記サンプリング周波数を、前記設定手段で設定された前記着目周波数の自然数倍になるように決定する決定手段と、

を備えたデータ処理装置。

【請求項 15】

前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、かつ垂直同期信号の周波数よりも大きい周波数である請求項 14 に記載のデータ処理装置。

【請求項 16】

前記サンプリング周波数は前記着目周波数の 5 ～ 100 倍である請求項 14 または 15 に記載のデータ処理装置。

【請求項 17】

前記決定手段は、前記サンプリング周波数の上限値と下限値の少なくとも何れかを設定可能である請求項 14 に記載のデータ処理装置。

【請求項 18】

前記刺激値取得手段は、積分方式により刺激値に相当する強度を取得する請求項 14 に記載のデータ処理装置。

【請求項 19】

着目周波数を決定するために、前記ディスプレイの光の光量変動周波数を検出する検出手段を備えている請求項 14 に記載のデータ処理装置。

【請求項 20】

ディスプレイの光を受光し、刺激値に相当する強度を所定のサンプリング周波数に対応する一定時間間隔で連続的に取得するための前記サンプリング周波数を決定するコンピュ

10

20

30

40

50

ータに、

前記ディスプレイの光量変動周波数を着目周波数として設定する設定ステップと、
前記サンプリング周波数を、前記設定ステップで設定された前記着目周波数の自然数倍
になるように決定する決定ステップと、
を実行させるためのプログラム。

【請求項 2 1】

前記着目周波数は、ディスプレイの垂直同期信号の周波数と異なり、かつ垂直同期信号
の周波数よりも大きい周波数である請求項 2 0 に記載のプログラム。

【請求項 2 2】

前記サンプリング周波数は前記着目周波数の 5 ～ 1 0 0 倍である請求項 2 0 または 2 1 10
に記載のプログラム。

【請求項 2 3】

前記決定ステップでは、前記サンプリング周波数の上限値と下限値の少なくとも何れか
を設定可能である請求項 2 0 に記載のプログラム。

【請求項 2 4】

前記刺激値強度は積分方式により取得された刺激値に相当する強度である請求項 2 0 に
記載のプログラム。

【請求項 2 5】

着目周波数を決定するために、前記ディスプレイの光の光量変動周波数を検出する検出
プログラムをさらにコンピュータに実行させる請求項 2 0 に記載のプログラム。 20

30

40

50